

議 会 を も つ と 身 近 な も の に

ながとろ町 議会だより

No.17

令 和 3 年
3 月 定 例 会

5 月 1 日 発 行



今号の表紙

法善寺の枝垂れ桜と地藏様

枝垂れ桜は、「抜苦與樂」の文字のあるお地藏様に因んで、『與樂の地藏ざくら』と言われています。

盆地晴れ抜苦與樂の糸櫻

(野原 清さん)



【長瀬町議会HP】
http://www.town.nagatoro.saitama.jp/gikai/gikai_photo/

表紙の写真を募集しています。
ご応募お待ちしております。



次回定例会は

6月10日(木) 9時 開会予定です。

定例会及び臨時会における本会議を、どなたでも傍聴することができます。傍聴を希望される方は、会議の当日、庁舎4階に設置された受付場所にて、氏名、住所などを受付票に記入し、議場へご入場ください。
※当日検温をして、マスク着用でご来場ください。

今号の主な内容

- 令和3年度予算
- 条例・補正予算
- 町政を問う ～ 一般質問 ～
- みんなの広場「どうなる?新型コロナ」

令和3年度 一般会計・特別会計予算を可決 町民の安心安全な生活と 町の発展に直結する予算

令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による税収減もありますが、町民生活を守り、成長していくために特に保健、教育に配慮されたものとなっているのが特徴です。



抜粋してお知らせします

予算に関して、多くの質疑がありました

交通弱者対策について

Q 商工会への移動手段補助金200万円は、以後継続的に補助するのか。

A 200万円は車両購入等に充てる費用で、単年度に限るものです。別に、運営補助の費用が80万円あります。

小学校の複式学級について

Q 複式学級関連の経費が計上されているが、合併するかしないか、また人数等の指針があるか。

A 計上した報酬は、会計年度任用職員のもので、合併に人数の指針はありませんが、当町の小中学校は小規模です。第二小中学校はかなり児童数が減っているの、検討しながら町で決めることとなります。

建設事業費の減少について

Q 普通建設事業費が右肩下がりで

推移している。安定的に仕事があれば住民や業者にとって良いと思うがどうか。大雪や災害のときは、地元の建設業者が頼りになる。

A 道路の新設改良5本、河川整備6本を予算要求しましたが、査定によって減額になりました。

町道の整備について

Q 生活関連道路整備は、住宅が多く道幅が狭くても待避所のような場所があればより便利になると思うがどうか。

A 区長会で説明し、申請を受けて協議します。緊急度・危険度等を考慮していきます。

地域おこし協力隊について

Q 地域おこし協力隊の役割と成果と予算配分について伺う。

A 企画財政課に3名と産業観光課に1名が在籍しており、地場産品の販路開拓や独自視点で町の魅力

を発信するなど、熱心に活動しています。3年度予算は、1人当たり年間470万円の配分をしていますが、全額特別交付税の措置がなされているものです。

基金残高について

Q 財政調整基金と減債基金の令和3年度の見込みを教えてください。

A 財政調整基金が3億4,890万3,000円、減債基金が2,003万8,000円です。

幹線1号線の改良について

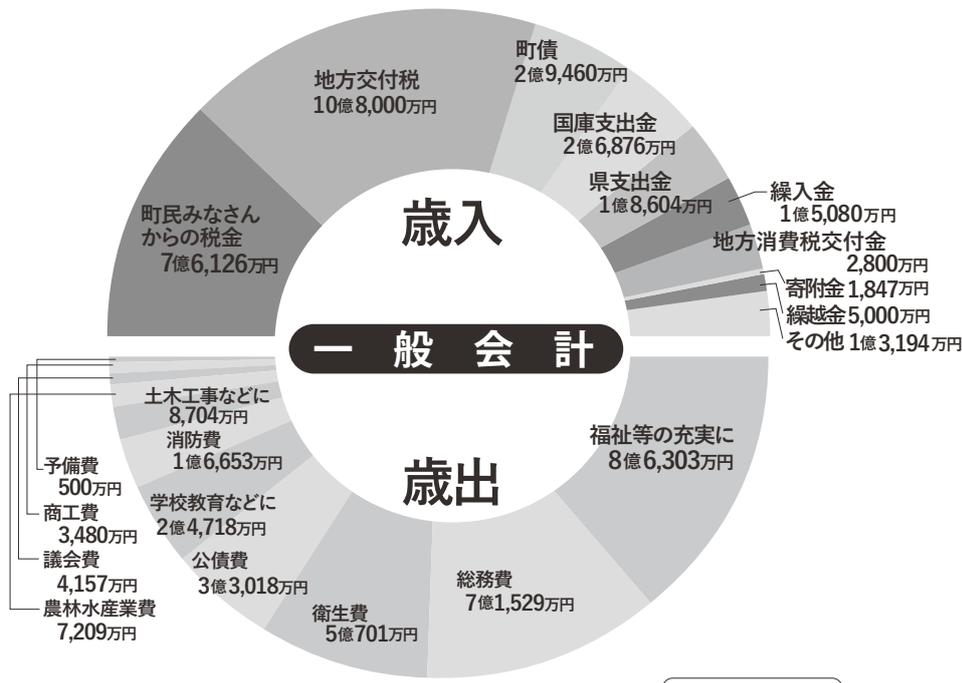
Q 道路新設改良3路線のうち、幹線1号線が27メートルで予定されているが、この先の整備計画がなされているのか。

A 幹線1号線の歩道整備工事は、令和2年度と同様な工事を予定しています。今後は、予算の都合もありますが、毎年進める計画でいます。

令和3年度 予算総額 45億5,636万円

令和3年度 予算額

会計名	予算額 (前年度比増減額)
一般会計	30億6,986万円 (△8,730万円)
国民健康保険特別会計	6億1,392万円 (△1億5,084万円)
介護保険特別会計	7億6,240万円 (4,452万円)
後期高齢者医療特別会計	1億1,018万円 (△25万円)



ここに注目

緑の村野外運動施設等除却事業

令和3年度は、流水プールの除却事業として5,434万円の予算が計上されています。前年度の除却設計予算464万8,000円と合わせると、6,000万円近い予算額となります。

流水プールは、昭和56年に建設費約2億200万円で建設され、以後21年間利用されました。当時は、話題性もあり、にぎわいを見せましたが、天候に左右されるなど収支バランスが悪く、施設閉鎖後も費用がかかり、このたび耐用年数が過ぎたことから、更地にして地権者へ返還するものです。



現在の流水プール

反対 討論

▼関口雅敬…観光費と商工費との予算額の差が、観光に手厚く商工業には厳しい町の姿勢を反映している。商工業が衰退すると、町の商店や工場がなくなり、買い物難民も増える。

▼村田徹也…予算削減ということに関して、例年の踏襲的な予算立てになっており、無理、無駄を省く点はまだ不足していると感じられるので反対する。

賛成 討論

▼板谷定美…コロナ禍での町税の減収、固定費的な秩父広域組合と下水道組合への負担金等が結構なウエートを占めている中で、限られた財源を効果的に活用した予算だと思う。

▼岩田 務…住民に直接関わる介護、医療、福祉、子育てなどの生活関連の事業といった視点で見ると「全体的にバランスのとれた予算」ということができる。

コロナ対策ほか 条例、補正予算を可決

条例の廃止・改正

長瀬町教育振興基金条例を廃止する条例

令和2年度をもって基金全ての取り崩しを終え、基金の設置目的が達成されたため廃止するものです。

長瀬町国民健康保険条例の一部を改正する条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部改正の施行に伴い、被保険者等に係る傷病手当金について、所要の改正を行うものです。

長瀬町介護保険条例の一部を改正する条例

令和3年度から令和5年度までの介護保険料率の改正と新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に伴い所要の改正を行うものです。



専決処分 令和2年度一般会計補正予算 (第9号)

高齢者へのワクチン接種券の配布や介護施設等の職員用のPCR検査キットの購入費など、コロナウイルス感染症に関する予算とふるさと納税が想定を上回り寄せられたため、経費を増額する予算を専決処分により調整したものです。

〔主な質疑〕

Q PCR検査キットはどの程度準備したのか。

A 検査キットは、300個を用意しましたが、想定以上に安く買えたので、もう少し購入できると思います。

Q ふるさと納税の目的別寄附金額の内訳はどうなっているか。

A 主なものは、生活環境の整備・防災体制の充実が約611万円で、健康増進・福祉の向上が約490万円です。指定のないものが約1,210万円あり、合計3,047万円となっています。

令和2年度一般会計補正予算 (第10号)

ワクチン接種体制の確保、町内の医療機関・保険薬局に対する給付金である医療機関支援給付金、時短営業に協力または売り上げが減少した事業者に対し支給する中小企業特別支援金、町内商店等で利用できる商品券を配布する経費の地域経済応援助成金など、新型コロナウイルス感染症に関連する事業に関する経費です。

〔主な質疑〕

Q 地域経済応援助成事業は、議会審議前に募集記事が商工会だよりに載り、受付を始めたが、これは議会軽視ではないのか。

A 議決された後、すぐに事業が開始できればという思いから、議決後を想定して記事を書いたものです。

Q ブランディング事業について、多額の費用をかけて町外の企業に委託することについて疑問を感じる。

A 町で考えるテーマに沿って、考えられるブランディング、町にどれほどの魅力があるのか、町内の関係者だけでは具体的な検討ができないと考えています。

Q 町のホームページのリニューアルにかかる費用が多すぎると考えるが、どのような方法で執行するのか。

A デザイン面や機能面など、どのようにしたら最善なのか企業によって違うと思うので、プロポーザル方式での執行を考えています。

▼**関口雅敬**…繰越しする事業の中に、見直しが必要なものが見受けられる。また、議会提出前に事業の広報や受付をしたことは、議会軽視で看過できない。町長は「知らなかった」では許されない。



▼**村田徹也**…議会の議決前に事業の参加を募ったということは、議会軽視の表れと考えるし、議会の存在意義がなくなってしまうと考え、反対する。

▼**岩田 務**…予算成立が前提で先に情報を出している事例は国でもある。コロナ禍での個人、法人に対する救済支援事業をいち早く進めるため、賛成する。



▼**新井利朗**…議案を否決すれば被害を被るこうむるのは町内の商工業者と町民であり、可決すれば全体が利益を得られると考え、賛成する。

意見書

埼玉県医療介護労働組合連合会から提出された陳情を受け、当町でも同様の課題があると考え、採択した上で国へ意見書を送付しました。

安心安全の医療介護の実現と国民のいのちと健康を守ることを求める意見書

コロナウイルスの蔓延により感染症病床、医師・看護師等不足のほか、保健所数の不足も顕在化した。今後は、新たなウイルス感染への備えが必要なことから、医療・介護福祉、公衆衛生施策の拡充は喫緊の課題となる。

そのため、次の事項を国に要請する。

- 1 医療、介護、福祉に十分な財源確保を行うこと
- 2 医師・看護師等を大幅に増員すること
- 3 保健所の増設、保健師等の増員などとともに、ウイルス研究、検査体制などを強化すること
- 4 社会保障に関わる国民負担の軽減を図ること

お知らせします 審議した議案と議員の賛否		審議結果	板谷定美	井上悟史	野原隆男	岩田務	村田徹也	野口健二	関口雅敬	大島瑠美子	新井利朗	染野光谷
専決処分	専決処分の承認を求めることについて (令和2年度長瀬町一般会計補正予算(第9号))	承認	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
条例の廃止	長瀬町教育振興基金条例	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
条例の改正	長瀬町国民健康保険条例	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	長瀬町介護保険条例	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和2年度 補正予算	一般会計補正予算(第10号)	可決	×	○	○	○	×	-	×	×	○	○
	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和3年度 予算	一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	-	×	○	○	○
	国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
	後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
令和3年度 補正予算	一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
陳情	安心安全の医療介護と国民のいのちと健康を守るため国へ意見書提出を求めることに関する陳情	採択	○	○	○	○	○	-	○	○	○	
意見書	安心安全の医療介護と国民のいのちと健康を守るを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	-	○	○	○	

○：賛成 ×：反対 ※議長は採決には加わらず、賛否同数の場合のみ議長裁決として表明します



せきくちまさたか
関口雅敬議員

公共交通について

〔町長〕 商工会と共同してお助け隊の整備を図る

Q 昨年度行った公共交通の実証実験で課題となったことや経費の総額、実施する場合の運用コストはどの程度になるのか、今後の見通しとともに伺う。

A 経費の総額は、デマンド乗合タクシーと路線バスを合わせて548万4,613円です。実証実験と同じ形態で導入すると、乗合タクシーで926万円、路線バスで7,868万円かかることになります。

現時点では、交通弱者の移動手段をどのように確保するかが課題となっています。この課題を解決す

るために商工会で行っている「元気と安心お助け隊事業」の拡充について打診し、承諾をいただいています。

今後は、この事業を気軽に利用できる環境を整えられるよう、事業の周知やボランティアの共同募集をしていきたいと思ひます。

【その他の質問】

- ・誘客多角化事業の実施結果について
- ・新型コロナウイルス対策について



いわた つとむ
岩田 務議員

学校の在り方検討委員会について

〔教育長〕 児童生徒にとって、よりよい環境を模索する

Q 学校の在り方検討委員会について、これまでの会議の概要を伺う。

A 第1回会議では委員の委嘱を行い、第2回会議では諮問書を送付しました。第3回会議では、町の学校施設の状況や学校ごとの児童生徒の将来推計などで現状を確認いただき、保護者に行うアンケートの内容を検討しました。第4回会議では、アンケートの素案をもとにさらに検討を重ねました。また、学校の小規模化が進んでいることから、そのメリットやデメリットを認識し、来年度、第二小学校に設置

される予定の複式学級を含め、児童生徒にとってよりよい教育環境についてグループで話し合いをしました。

Q 教育委員会としては、どのような方向で進めようと考えているか伺う。

A 児童生徒にとって、学校がどうあることがよりよい教育環境なのか、それを第一に考えて検討をしています。保護者をはじめ、地域の皆さんの意見、検討委員会の答申を踏まえ、町執行部ともよく協議して進めていきます。



むらたてつや
村田徹也議員

新型コロナウイルス感染症の対応

〔町長〕 最新の情報を確認し、感染予防に努めてほしい

Q 新しい生活様式下での健康づくり

A 地域包括支援センターだよりなどで、今行える健康維持方法をお知らせし、フレイル予防に努めます。

Q コロナ感染症に関する知識・防止策

A 広報紙、回覧など様々な媒体を活用し、情報提供をしています。住民も最新の情報を確認し、感染予防に努めてもらいたいと思ひます。

Q 現在までの対策の評価と今後の基本方針

A 実施した対策について、よかった点、改善すべき点を評価し、今後に活かしていきます。

Q 医療機関・介護現場への支援とワクチン接種の準備

A 医療、介護現場への給付金の支援を進めています。ワクチンの接種は、秩父郡市医師会の協力をいただき、郡市1市4町での共同実施となります。

全ての集団接種会場、個別接種医療機関で接種を受けることができます。





の はらたか お
野原隆男議員

無形文化財の保存について

〔教育長〕先人の貴重な文化財を保存し後世に伝えていきたい

Q現在、文化財に指定されていないものに、小正月行事のモノヅクリや大山灯籠等がある。これらの風習や行事は、高齢化や継承者がいなくなり、いずれは町から消えてしまうおそれがある。

伝承されてきた風習や行事を後世に伝えるためには、人材育成や記録として保存する必要があると思うが、町の見解を伺う。

Aこれまで、中央公民館主催で「削り花講座」を開催してきました。今後は、参加者のサークル化を進める取組やグループで取り組んでいけるような支援

をしていきたいと思えます。

大山灯籠等の行事は、今後は文化財への指定を視野に調査を実施していきたいと思えます。

記録の保存は、町史編さん事業で実施してきましたが、今後も調査を継続して文化財指定や記録保存に努めます。

文化財の保存と継承は、行政の務めであり、今後も努力していきます。



大山灯籠



いた や さだ み
板谷定美議員

人口減少社会で事務効率を高める必要性について

〔町長〕様々な手法を用いて事務の効率化に努めたい

Q総務省の「自治体戦略2040年構想研究会」の第二次報告の中で、スマート自治体への転換を促している。その背景には、今後生産年齢人口が不足することから、ICTを活用した行政サービスにより事務効率を高める狙いがあると思われるが、その必要性について見解を伺う。

A当町でも人口減少、少子高齢化は進行しつつあり、事務効率を高め、人的資源を住民サービスのさらなる向上につなげる必要性を認識しています。

ICTの利活用は、事務負担の軽減が期待できる

一方、初期投資や運用に多額の経費がかかるため、小規模な団体では費用対効果が低くなります。

そこで、これまでは町村会の共同調達など、広域連携を使いICT化を進めてきました。現在、国において地方公共団体の主要業務の標準仕様の作成などが進められており、その動向を注視しているところです。

今後もICT化を含めて、様々な手法を検討し、事務の効率化と住民サービスの向上を図ってまいります。



あら い としろう
新井利朗議員

町長選挙に対する意欲と今後の政策について

〔町長〕コロナ対策とワクチン接種の環境整備を優先します

Q大澤町政2期8年の間、それまで着手できなかった幹線道路や公園の整備など、一定の実績があった。また、大型台風の襲来と避難所の開設、新型コロナウイルス感染症の対策に一定の成果を上げたと思う。

そこで、この夏の町長選挙に対する意欲と今後の施策について伺う。

A「町民の町民による町民のための政治」を心がけた2期8年があつという間に過ぎたのが実感です。

昨年からは、新型コロナウイルス感染症の影響で全ての国民が不自由な生活を余儀なくされています。しばらくするとワクチン接種が始まりますので、その環境準備をしっかりとすることが最優先の課題だと考えています。町長選挙への意思表示はもう少し時間をいただきたいと思えます。





おおしまる み こ
大島瑠美子議員

風布地区の渇水対策について

〔町民課長〕 渇水時には迅速な対応を取りたい

Q この冬は雨がほとんどなく、風布地区では、渇水が起きた。この地区には水道が引かれていないため、渇水時は町が対応せざるを得ないと思うが、どう考えているか。

A 風布地区は、雨の少ない年は渇水の発生する地区です。渇水時、区長から町へ連絡をいただき、町が水道水をポリタンクで各世帯へお届けするようになっています。

今回の渇水では、1月下旬に植平地区の4世帯へ水を配付しました。今後も、渇水が生じた場合には、

地区の状況を十分に把握し、迅速な対応を取っていきます。

Q スマートフォン時代の子供は、読書に親しむ機会が少なくなっていると思うが、教育の中で読書に関する取組をしているか伺う。

A 小学校では、学年に応じた読書量の目標を設定し、達成率は90%ほどになっています。また、中学校では、昼の放送で学校図書館の利用を呼びかけるなど、生徒の自発的な活動も見られます。

みんなの広場

「どうなる？ 新型コロナ」

コロナウイルスワクチンの接種が始まるのを前に、南須原医院長に現状と課題を伺いました。

まず、長瀬町のコロナウイルス感染者について、郡内の他町よりも感染者が多いので、特徴はあるか伺った。「当町では、旅行や会食を介した家庭内感染者が多く、感染経路をたどれるのが特徴である」ということである。

また、「例えPCR検査を行っても翌日には感染する可能性があり、PCR検査をすることが万

能ではない」ともいわれ。副反応を心配する方もいるが、ワクチン接種が感染率を下げる効果はいちばん大きいので、ワ

クチン接種を受けることをすすめたいとのことである。

ワクチン接種については、秩父郡市では、ワクチンを一元管理したうえで、予約数に対して配分する方法で行うということなので、事前に予約することを忘れないようにしたい。

こうした対策にしても、「今後治療薬が開発され、ワクチンとの併用によって、現在のインフルエンザ程度に感染者が低減すれば収束を迎えたといえるのではないかと、先生はいう。

それまで、私たちは正しい知識を持って、手洗いと消毒、不要不急の外出や大人数での会食を控えるなど感染予防に勤め、感染拡大防止を図っていかねばならないだろう。

(取材日：3月24日)



(南須原医院長)

ながとろ町 議会だより No.17

令和3年3月定例会／5月1日発行
発行：埼玉県長瀬町議会

編集：長瀬町議会だより編集委員会

委員長：新井 利朗 副委員長：岩田 務・板谷 定美
委員：野口 健二・野原 隆男・井上 悟史

編集後記 新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらず、今年の3月末現在で、埼玉県の罹患患者が3万7,828人、日本中で47万8,407人、世界中では日本の総人口に相当する1億2,894万4,358人にもなっています。

ワクチン接種の準備も整ってきましたが、感染対策をしっかりしていきたいです。(新井利朗)